

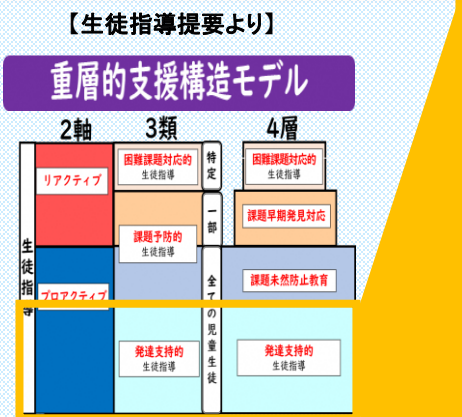


組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
安心できる学級でスタートするために

西部教育局
お役立ち情報
令和5年4月号

年度当初の学級づくりのポイント
子供をつなぐ、子供とつながる「みる」「きく」「認める」

取組① 教員と子供、子供同士の間関係をつくる

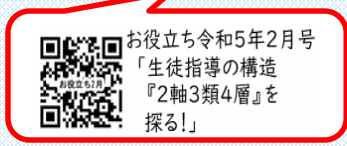


具体例① 毎日、全ての子供との一會話を心がける

- 朝、教室で出会ったとき、係の仕事に取り組む姿を見かけたとき提出物を持ってきたとき等、子供に温かい一声をかける。
(例)「〇〇さん、掃除を黙々と頑張ってたね」
- 昼休憩等に、教室内や体育館、校庭で子供たちと会話をする。
- 授業中の机間指導の際に、声をかける。
(例)「△△さん、分からないところはないかな」

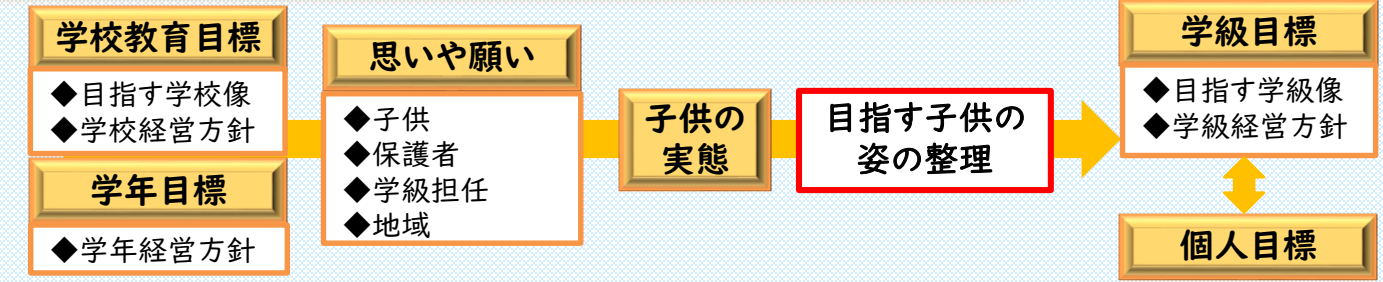
具体例② 友達の気づき・発見を大切に、共有する

- 感想や日記の中から、友達の気づきや発見等、心の動いた場面を取り上げて紹介する。
- よく発言する子供だけでなく、意図的な指名をする。
- グループワークトレーニング等を取り入れ、振り返りを通して友達の思いを共有する。



教員と子供の良好な人間関係づくりは、**プロアクティブ**（課題が発生する前に常態的・先行的に行う生徒指導）の観点からも欠かせません。日々の教職員の子供への声かけや励ましに加えて、授業や行事等を通して個人や学級全体への働きかけが大切です。年度当初から意識して取り組みましょう。

取組② 学級経営の目標を立てる(学級目標の設定)



学級目標は、目指す学級の姿です。まずは、担任としてどのような子供を育てたいのかを考えましょう。その際に、一人一人の変化や個性を「みる」、子供が理想とするクラス像を「きく」、一人一人の思いを「認める」ことを大切にした多面的な見方で子供の実態を把握し、目指す子供の姿を整理していくことが大切です。

詳しくはココ!
学級びらきの
ポイントが終結!



新学期スタートに向けて
～子どもが生きる学級経営の在り方～
やまぐち総合教育支援センター 梶田崇晴 氏

鳥取県 学校教育支援サイト

やまぐち総合教育支援センター
梶田崇晴

check 新着情報

- 2023年2月20日 新学期スタートに向けて～子どもが生きる学級経営の在り方～
- 2023年2月17日 『よつりメンター方式実践報告書』について
- 2022年7月22日 令和4年度鳥取県教育支援センター(中学校個別支援学級)報告書

【掲載場所】
学校教育支援サイト

【掲載期間】
令和5年2月20日(月)
～令和5年7月末日

【動画内容】(各編約20分)
(1)「学級経営の課題」編
(2)「学級開きの在り方」編
(3)「学級目標をつくる・活かす」編